

シロクマせん たいてんです!

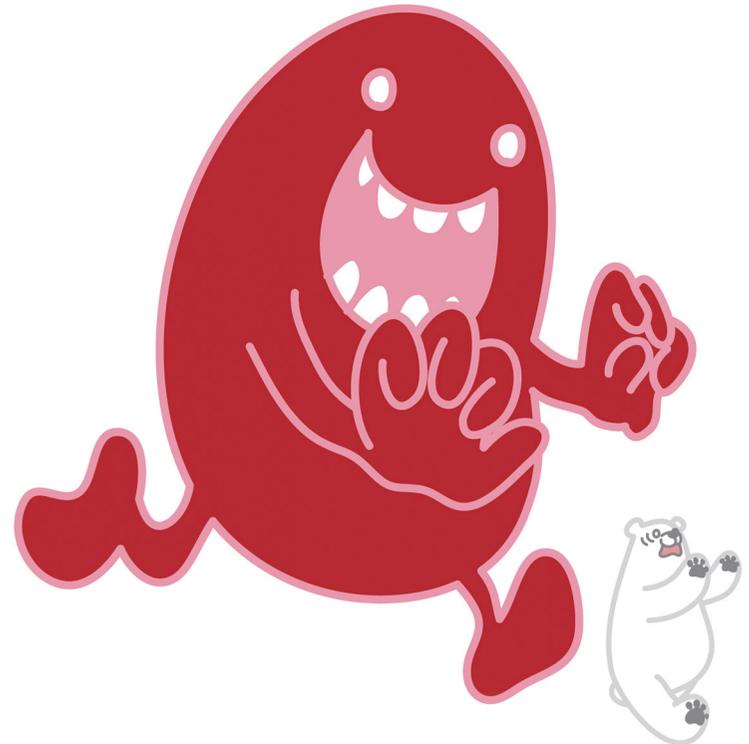
さく：(公財)京都市国際交流協会

え：ごみた こずえ



シロクマさん 龙いへんです!

さく：(公財)京都市国際交流協会
え：ごみた こずえ



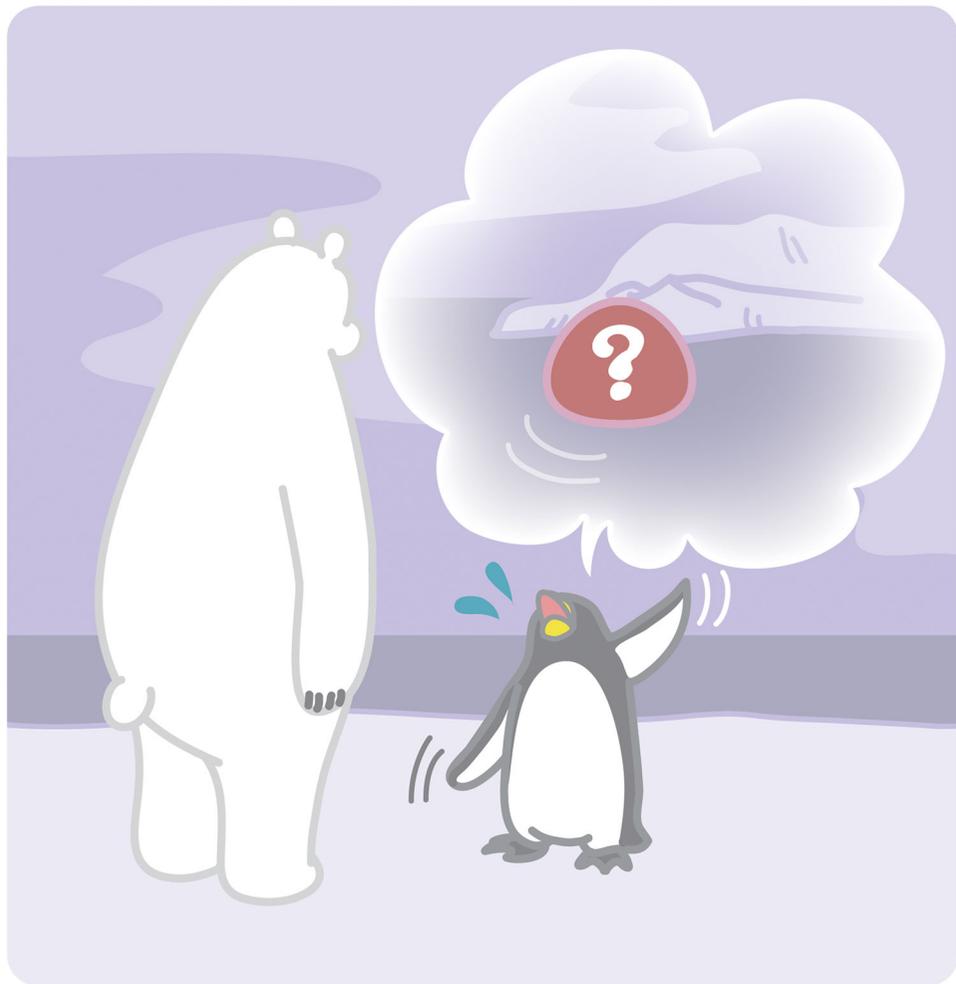
ここは、シロクマさんたちが住む『シロシロ島』。



ゆき こおり しま しま じゅうみん しろ
雪と氷だらけのこの島は、島の住民もまっ白な
ので、どこもかしこもまっ白け。

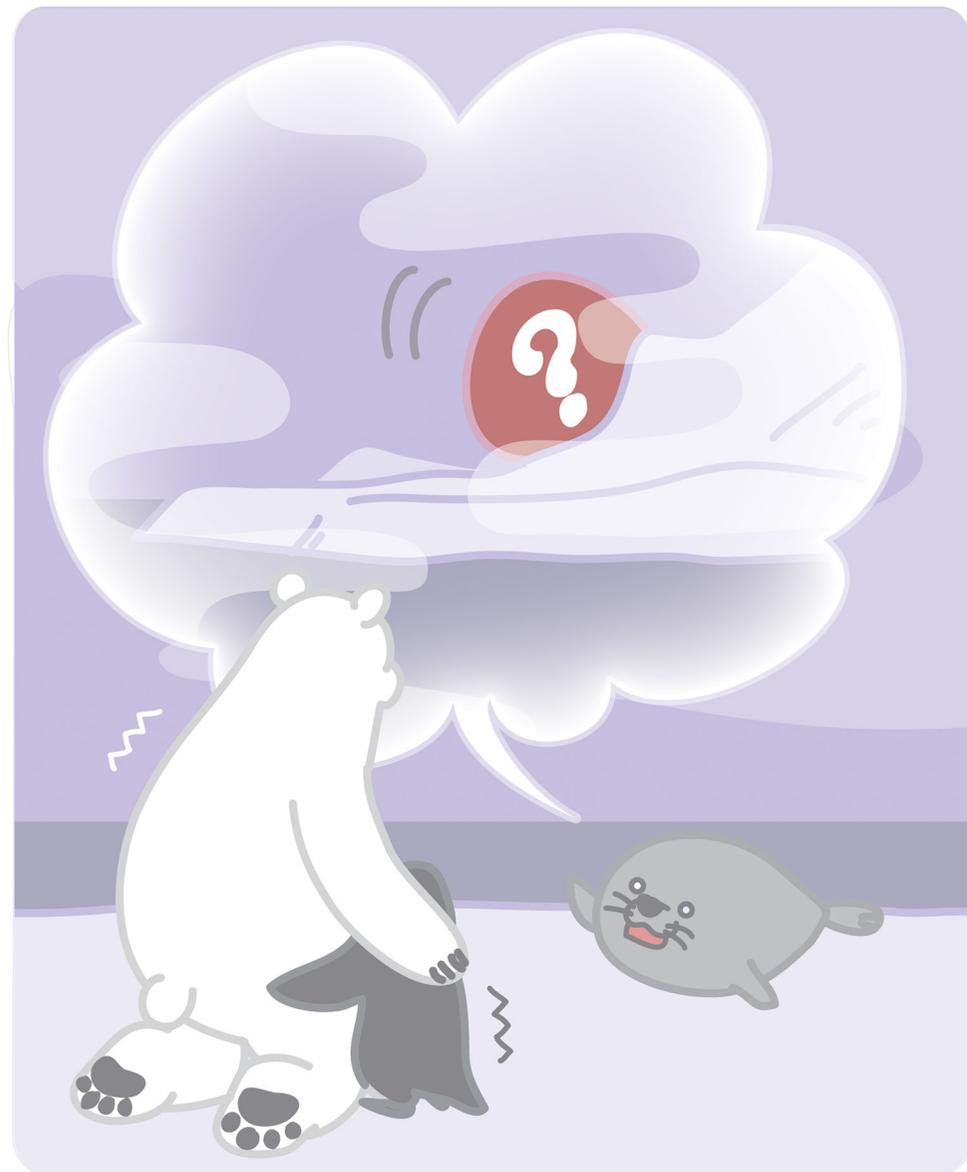
霧きりのふかいある日、そんな「シロシロ島」しまに一大事いちだいじが

おきました。



となり島しまの「シロクロ島」しまから、ペンギンさんがやってきて、こんなことをいうのです。

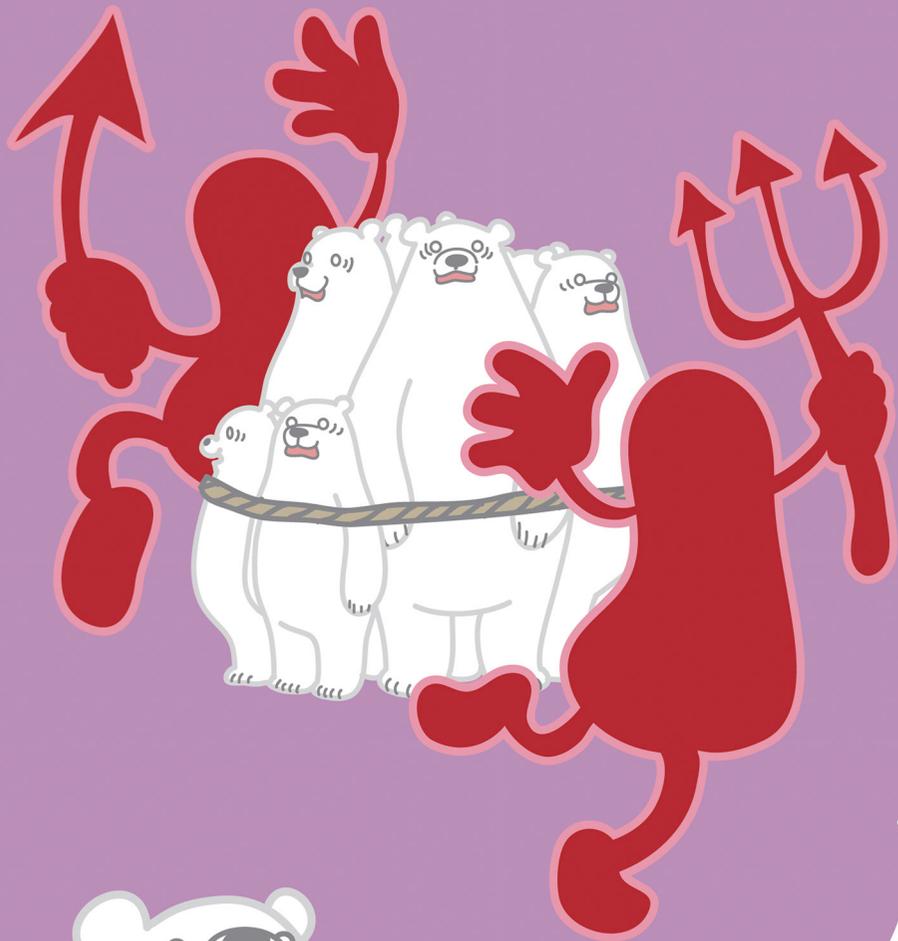
「さっき、この島しまに赤いものあかがちかづくのがみえたよ！」



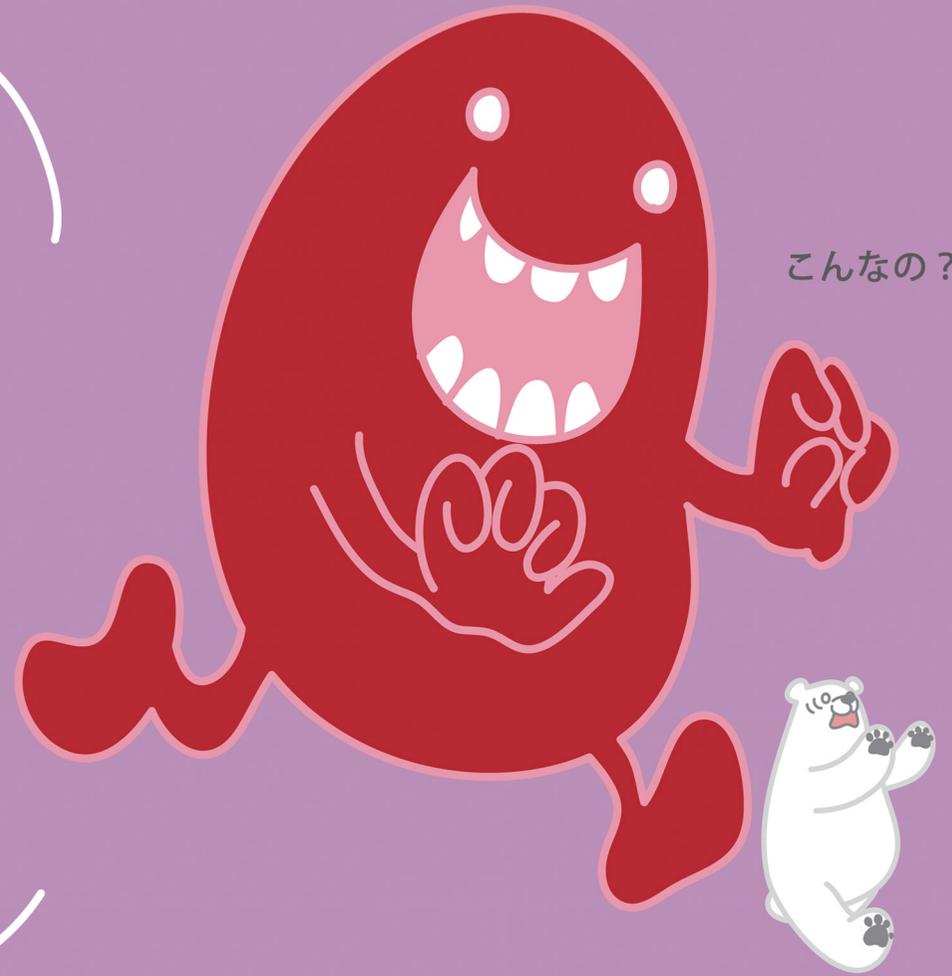
すると、反対がわのとなり島しま、「ハイイロ島」しまのアザラシさんまでやってきて、こんなことをいうのです。

「いま、この島しまに赤いものあかがあがるのがみえたよ！」

それってこんなの？



こんなの？



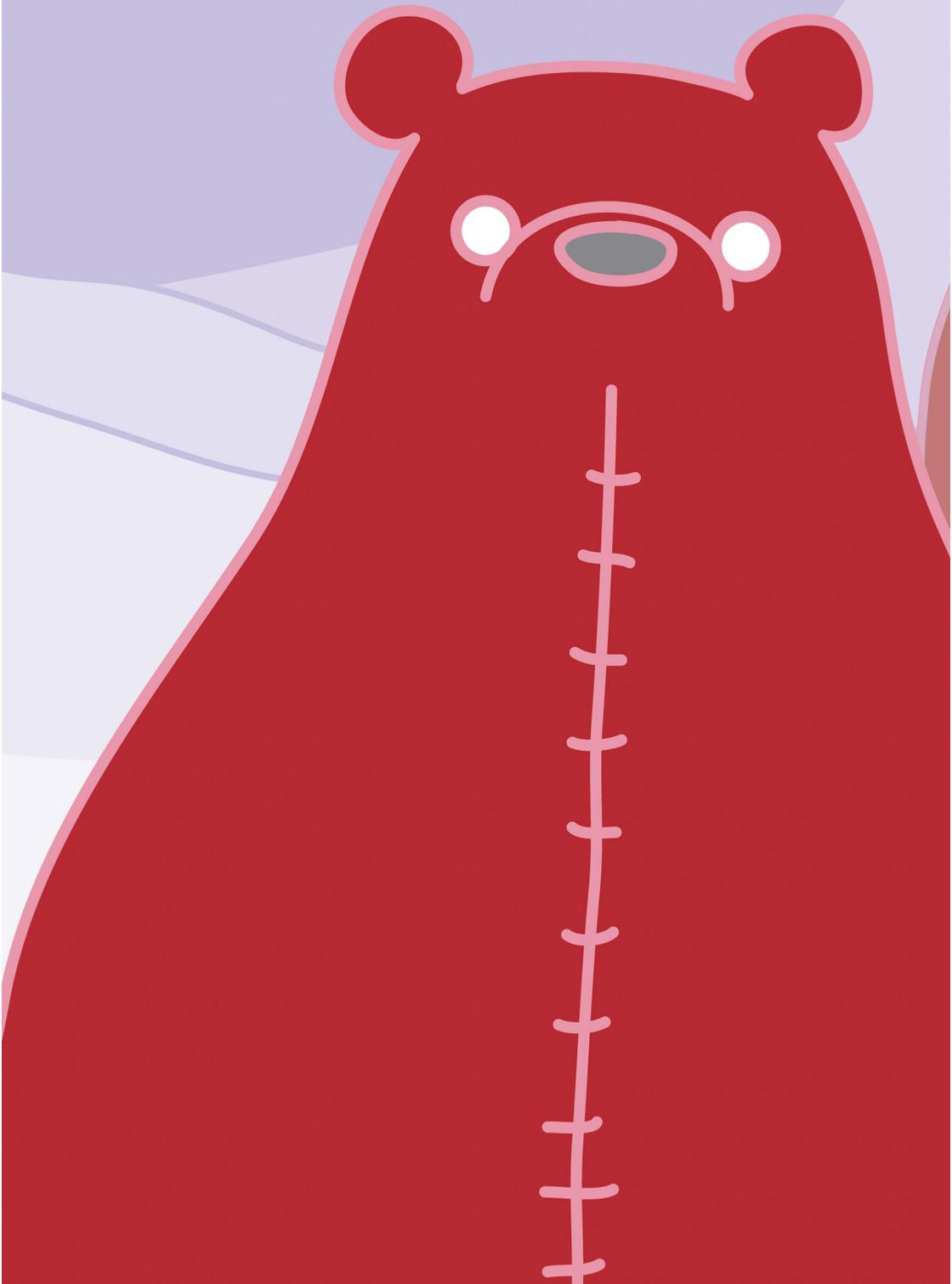
どんなの！？



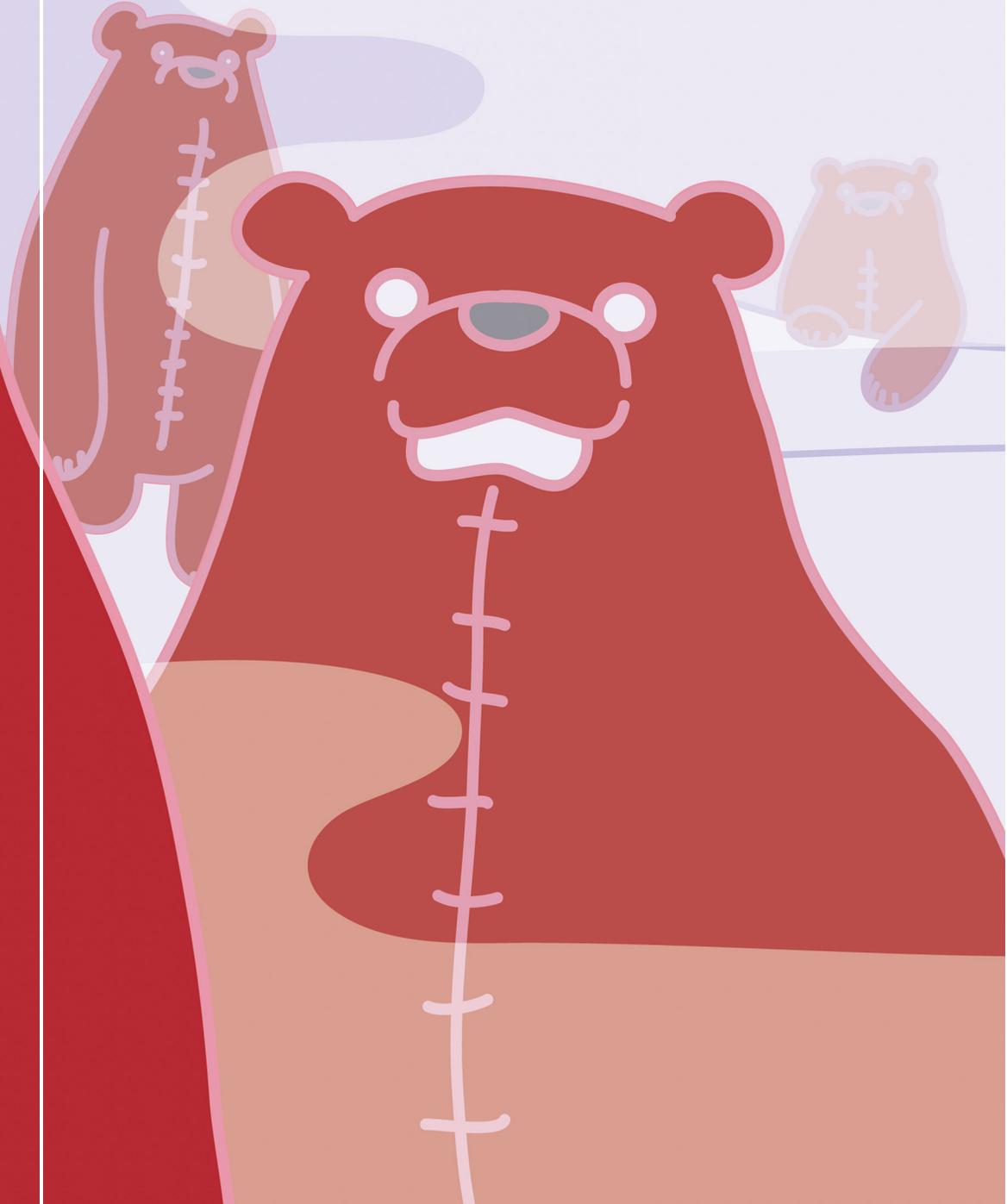
しばらくすると、^{しま}島のおくから、たくさんの^{あか}赤いかたまりが、ちかづいてくるのがみえました。



すがたが、だんだんはっきりしてくると、
そこにあらわれたのはなんと…



みたこともない、まっ赤なクマたちでした！！





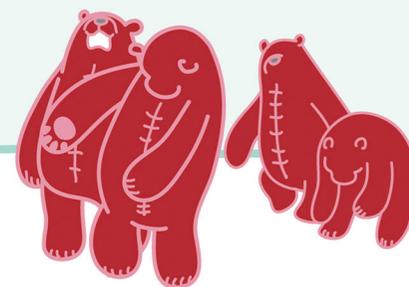
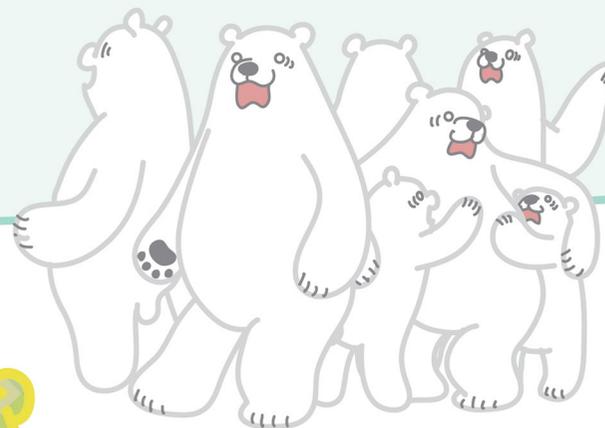
うみ
海からは、カラフルなクマたちがぞくぞくと島に
あがってきました。なんと、こんどはみずたまや
チェックの柄つきです。

ぶきみなクマたちにかこまれたそのとき、霧がはれて
たいよう
太陽がクマたちを、てらしました。すると…

「あ…ああ…」



「あ…あ…あ…」



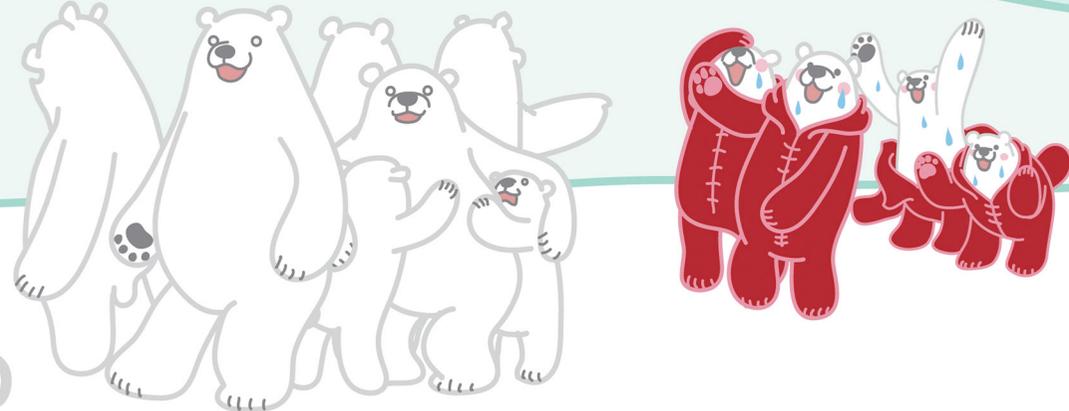
「あああああ…」

クマたちから、くるしそうなうめきごえが
きこえてきました。そして…

「あつかー！こりゃ、しんぼうたまらん！」



「あついで、しかし！」



「あっづいべなー」



なかからシロクマのようなものがでてきました。

『ぽちゃん』

そのとき、^{うみ}海でなにかがとびはねる^{おと}音がしました。



「さかなか！！」

そこにいたみんなが、いっせいに音のするほうに^{おと}振りむ^ふきました。

よくみると、みんながみんな、くちからよだれがでてい
ます。



「さかなはシロクマの^{こうぶつ}好物やしな。しゃーないで」

アカクマがいました。みずたまクマも、チェッククマ
も、はずかしそうにうなづいています。

「みなさんは、ぼくらとおなじシロクマなんですか？」
シロクマさんたちは、おそろおそろたずねました。すると、カラフルなクマたちは、したしげにこたえました。



「せや。みんなおなじシロクマやで。
うまれた^{しま}島はちゃうけどな」

「ほがの島^{しま}には、どんなシロクマがいんだべなーって、
みんなでいろいろな島^{しま}を^{たび}旅さ、してんのさ」

「あんたたちも、まっ白^{しろ}か^{ふく}服とは、おもしろかねー」

「それ、^{ふく}服っていうんですか？何の^{なん}ためのものですか？

すごくきれいですね」

シロクマさんたちはワクワクしたきもちになりました。



「え？^{ふく}服しらの？まさかあんたら、はだかかいな」

「はだかぐらしとは、こりやまたゆかいな」

「あんたたちのはなしも、もっとききたかとー」

「ぼくらのところにも、そとから^{きやく}お客さん、こないかねー」

うらやましそうな、ペンギンさんとアザラシさんでした。

(公財)京都市国際交流協会は、30周年を迎えるに当たり、10年後にどんな社会であってほしいかを話し合いました。外国人として、子を持つ親として、海外での滞在経験を持つ者として、さまざまな立場から意見が出ましたが、大きく描いたイメージは同じだったと思います。違うことはおもしろいこと。少数派が生きやすい社会は、みんなにとって生きやすい社会。私たちはそう信じ、楽しい10年後をめざして、これからも進んでいきます。



シロクマさん たいへんです！

発行日 2019年9月1日初版発行
著者 公益財団法人京都市国際交流協会
デザイン ごみたこずえ (絵本屋.com)
発行者 公益財団法人京都市国際交流協会
<http://www.kcif.or.jp/>
〒606-8536
京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1
印刷所 株式会社プリントパック

著作権保護のため無断転載及び複写複製（コピー）はご遠慮下さい。